

ちむ美らさ

第67号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県名護市大南1-13-11
電話: 0980-52-2752
FAX: 0980-51-1013

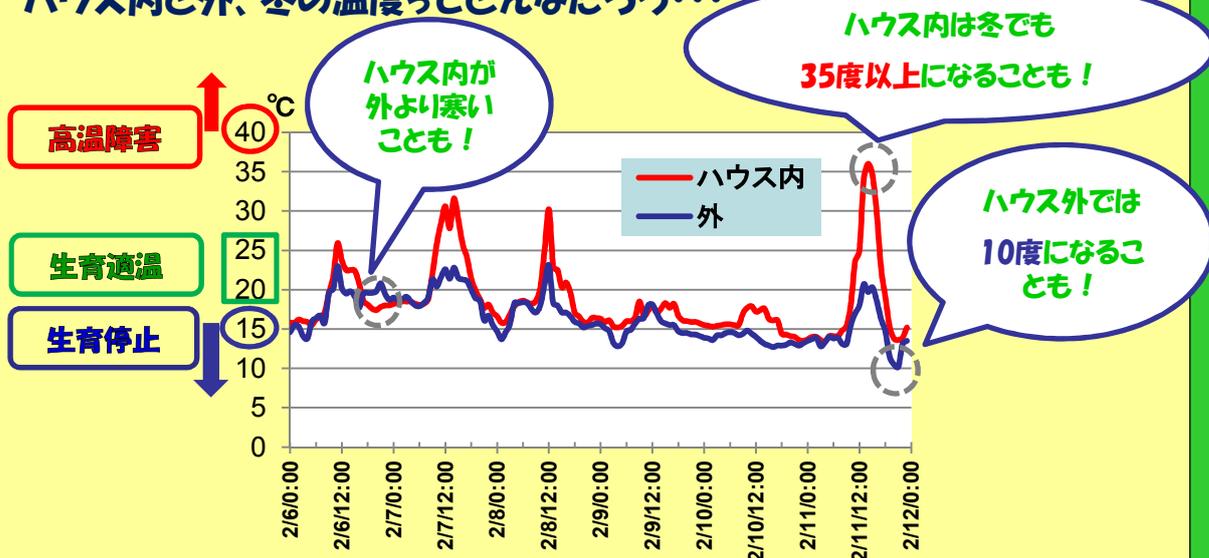
目次

- 1P 青ドラセナのハウス管理
- 2P ミカン園の管理
- 3P 紅いもレシピ紹介
- 4P 新たな指導農業士等

冬春期出荷に向けた青ドラセナ ハウス栽培管理のポイント

①ドラセナの生育適温とハウス内外の温度について

ハウス内と外、冬の温度ってどんなだろう…



②ハウス管理のポイント

温度計を設置し、こまめにチェックしましょう!

(管理一例)

朝: 早朝のハウス換気の実施(放射冷却対策)

※しばらく換気した後は湿度を高める為に閉める(光合成能力の向上になる)。

午前10時~午後: ハウスは開ける。

※ハウスを閉め続けると高温多湿になりやすく、病害発生のもと。

※開放箇所は風下側は開け、風上側で微調整。

夕方~夜間: ハウスは当日の温度によって開閉を判断する。

※低温であれば午後ハウス内保温の為に早めに閉めるか、風が無く低温で無ければ開けておく。

★適切なハウス管理は疫病、炭疽病などの対策にもなります!

★ハウス内は乾燥によるハダニの多発や高温障害による葉焼けが発生しやすいので、かん水はこまめに行いましょう!

(担当: 上田)

来年に向けた、ミカン園の管理

今年は上出来!! 気を抜かずに **木を抜こう**(間伐で密植の解消)!

★ 連年安定生産型にするための

仕上げ摘果、施肥、土壌管理、縮伐間伐、整枝剪定について★

★園地の目標

- ・密植の解消
- ・受光、通風
態勢の改善



密植



目標樹形(独立樹)



目標園地

★商品(果実)の最終仕上げです!

- ①仕上げ摘果:11月~12月
樹上選果:1月~収穫まで



摘果前



摘果後

- ②摘果する果実:病虫被害果、生育不良果

★施肥、土壌管理について!

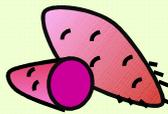
- ・施肥は、年間必要量を5、6回に分けて、こまめに施用します
 - 中晩柑、シークワサーは、常時、葉の色を緑色に保つ
 - 隔年結果の改善、連年安定生産型への修正
- ・多量、微量元素の補給→土壌分析値に基づいて実施
 - 土壌酸度が低い場合:苦土石灰、BMようりん等の施用
 - 土壌酸度が高い場合:ボロンセブン(葉面散布)、過石等の施用

★縮伐間伐、整枝剪定について!

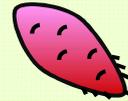
- ・間伐はいつでも可能→計画的に抜けば、収量は減りません!
 - むしろ、病虫害が減って、商品性が向上します
- ・縮伐、整枝剪定は12月~翌年5月まで可能です

豊作の年こそ、肥培管理を徹底し、2、3年後に備えましょう!

(担当:金城)



紅いもレシピ紹介



秋本番!! おいもの美味しい季節がやってきました。

11月16日は沖縄県の『いいいもの目』です。今晚のおかずに県産紅芋を使った一品はいかかでしょうか♪(北部では今帰仁村古宇利島が紅いもの拠点産地に認定されています。)

紅いもたっぷりキッシュ風

材料:5人分

- | | |
|---------------|---------------|
| ① アパレイユ | ② 具材 |
| ・卵(2個) | ・紅いも(1本) |
| ・生クリーム(200ml) | ・ブロッコリー(1/2個) |
| ・塩、こしょう(適宜) | ・たまねぎ(1/2個) |
| | ・カニカマ(50g) |
| | ・ピザ用チーズ(50g) |



作り方

- I. 紅いもは皮をむいて2cmくらいのサイコロ状に切り、水につけてアク抜きする。ブロッコリーは洗って一口大に切る。たまねぎは薄切りにする。
- II. ボウルに①の材料を入れて混ぜ合わせる。
- III. 耐熱容器に紅いも、ブロッコリー、たまねぎ、カニカマを入れ、ピザ用チーズをのせてIIを注ぐ。
- IV. 200℃に温めておいたオーブンで約20分焼く。

※①の材料は室温にしておく
※耐熱容器 直径約9cm・高さ約4cmを使用

紅いもサラダ

材料:5人分

- | | |
|-------------|--------------|
| ・紅いも(1本) | ・マヨネーズ(大さじ1) |
| ・たまねぎ(1/4個) | ・しょうゆ(小さじ1) |
| ・ツナ缶(50g) | |

作り方

- I. 紅いもは皮をむき乱切りにし、水につけてアク抜きし、蒸す。
- II. たまねぎを薄切りにして水にさらした後、しっかりと水分を絞る。
- III. 蒸した紅いもを熱々のままザルにあげ、水分をとばす。湯気が出なくなったらボウルに移しつぶす。
- V. ほどよくつぶしたら、IIとツナ、マヨネーズ、しょうゆを入れ混ぜ合わせる。



※「健康おきなわ21あぶら控えめ野菜たっぷりレンピ」参考

(担当:照屋)

平成26年度沖縄県青年農業士・指導農業士・女性農業士等 ～北部地区から4名の新リーダー誕生～

青年農業士：大城一秀氏(金武町：マンゴー)



金武町マンゴー生産組合事務局を務め、生産技術及び品質向上に向けて取り組んでいる。町の認定農業者連絡協議会副会長等として、常に向上心を持ち積極的に活動している。

青年農業士：小那覇安朗氏(今帰仁村：繁殖牛)



今帰仁村和牛改良組合副組合長、JA青壮年部今帰仁支部長等を務め、地域のリーダーとして活躍している。県及び地域の畜産共進会で優秀な成績を収め地域の模範となる青年農業者である。

指導農業士：外間勝嘉氏(恩納村：ドラゴ類)



沖縄県花卉園芸農業協同組合代表理事組合長等を歴任し、沖縄県の花弁生産振興に大きく貢献してきた。地域の青年農業者が意見交換できる組織の立ち上げに関わり助言を行う等、担い手育成にも積極的である。

女性農業士：照屋和江氏(恩納村：パッション・アケビ)



JA恩納支店熱帯果樹生産部会副会長等を務め、沖縄県果樹フェスティバルでは最優秀賞を含む5回の受賞歴がある。栽培初心者や女性部会員に対しての技術指導及び支援に積極的で担い手育成に貢献している。

名誉女性農業士：饒波和子氏(本部町：アロウ等)



やんばる起業グループ連絡協議会長や女性農業者組織の部会長を務めリーダーとして活躍している。本部町の資源を活用し、いいものを作りブランド化したい、町の活性化に寄与したいという思いも強い。

名誉女性農業士：名嘉好子氏(伊是名村：野菜)



JA伊是名支店園芸部会長・女性部会長、村農業委員会会長等を歴任し、村の農業振興、地域振興に貢献している。近年は新規就農者の農地調整や相談役として、担い手育成にも積極的に関わっている。

名誉生活指導士：又吉桂子氏(東村：マングー)



農業委員3期、民生委員や婦人会長を務め農業振興だけでなく地域福祉にも貢献してきた。現在は後継者と共に農業に励み、加工品販売やグリーン・ツーリズム体験、民泊受入等を行っている。

名誉生活指導士：宜野座愛子氏(金武町：田芋)



女性農業者組織のリーダーや農業委員を5期務めている。長年にわたり金武町の特産品である田芋料理の掘り起こしと、調理法を実践研究し、町行政と連携して特産品の加工開発・販売に取り組んでいる。

今後も地域農業の推進者、指導者としての活躍が期待されます。



平成26年度沖縄県農業士等認定式 (H26.9.3)

(担当：長山)